

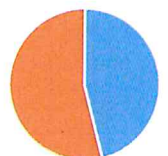
西蒲区子育て支援関係者 アンケート集計結果1

アンケート実施期間	令和4年3月		
アンケート配布先	西蒲区内 子育て支援センター6カ所・児童館1カ所・子ども食堂3カ所・子育てサロン2カ所	多世代交流の居場所1カ所・お寺(定期的に子ども会を開催)1カ所	計14カ所
回収数	13カ所		

<問1. 現在の状況等について、当てはまるところに○をつけてください。>

運営/活動中である ・ 休止中である ・ 解散している

項目		割合
運営/活動中である	6	46%
休止中である	7	54%
解散している	0	0%
計	13	100%



- 運営/活動中である
- 休止中である
- 解散している

<問2. コロナ禍が続いている中、新たな課題や活動をするうえでの工夫などを教えてください。>

●子育て支援センター

- 消毒の徹底、人数制限を行い密にならないようにした。サーマルカメラの設置をした。他の支援センターでのイベント等があれば保護者に紹介した。
- オンラインや少人数での活動
- 利用者の方へ活動日程などを知らせる方法が課題となっている。
- 保育園併設なので保育補佐に行くこともある。根本的な保育不足の改善が必要。
- スペース開放やイベント休止期間も、子育てに関する「電話相談」を受けています。
- 状況に応じて個別の相談を受けていますが、その場合は「予約制対面相談（遊びの場の提供含）」としています。
- 感染拡大により支援センター等も休館することが多くなりその間、行き場のない親のストレス増大、親子共に発散できる場がなくストレスを抱えている方が多いのではないかと懸念している。まだまだ現在の状況（感染拡大）はすぐには落ち着かないと思うので基本的な感染対策、人数制限などを行っていく。
- 相談業務においてコロナで今まで休館になった時は、電話相談のみ実施していたが、利用者に寄り添えるよう電話相談に加えて、予約制対面相談を受けることにし、相談内容によってはスペース開放を提供することにした。また絵本の貸し出しは可能と考え行うことにした。

●子ども食堂

- まん延適用期間、食堂は休館しています。ご寄付いただいたお米・野菜を各家庭に配達している中で、子ども食堂のチラシを渡し、お友達にも広めて下さいとお願いしています。子ども食堂＝貧困のイメージではなく居場所として発信し続けています。
- できることに限りがあると思います。私共は、寺や子ども園が敷地内にあるため当分は感染拡大を考えて、今までのような活動形態は難しいのでやるとすればお弁当を作って、それを取りに来てもらう形でしょうか。
- 利用されるリピーターが少しずつ増えているが、お弁当を20ヶ作ることに変化ない。スタッフのコミュニケーションを活発にして、風通しのよい組織にしている。

●子育てサロン

- 家族に子どもをみてもらえない時、有償で一時預かり。
- 工夫などは特にしていませんが、検温、換気、受付名簿作成、手洗い、消毒をした上で以前とあまり変わらない内容で実施しています。（調理系ワークショップ、個包装されていないお菓子などは控えています）

●児童館/多世代交流の居場所/お寺

- グループでの活動、縦割り（異年齢交流）がしづらい。
- 参加人数が増えすぎないように15人程度までに調整しています。参加者が多い時はスタッフを減らしたり、回数を増やしたりしました。新規の方へ募集はしませんでした。
- イベントの内容は参加者同士が密になりにくいように考えて組み立てました。陶芸の器作りを絵付けに変えたりしました。
- 活動自粛中でもつながれる方法などを考えていく必要があると思います。これまで参加してくださった方へ、思いをこめてハガキを送ってみました。
- 子ども同士の接触は避けられず、感染症対策が難しい。新たな取り組みとして、子ども新聞を発行した。